

果樹経営支援対策事業の活用事例

農地中間管理事業を活用した農地において、果樹の改植・新植や園地整備等を実施した場合、予算の優先配分及び改植単価の加算が行われる果樹経営支援対策事業が創設されております。

今回、宮崎市高岡町において、県内で初となる農地中間管理事業を活用したみかんの改植工事に着手しました。果樹産地の持続発展を目的にみかんの優良品種への転換を図るために、農地中間管理機構が樹園地(0.25ヘクタール)を借り受けて中間管理権を設定し、条件整備として改植を行った後、担い手へ樹園地を貸し付けました。また、西米良村においても果樹(ゆず)の産地ビジョンについて、関係機関・団体による検討会が行われております。

今後、これらの地区がモデルとなり、樹園地の農地集積の取り組みが拡大していくものと期待しております。【農地第一・二課】



改植前 樹齢約 30 年



改植完了

畜産担い手育成総合整備事業による施設が完成

この事業は、水田地帯における畜産農家の新たな担い手育成と農地の有効利用を図るため、肉用牛経営への新規参入支援や、飼料基盤と牛舎などの施設を一体的に整備することを目的とした事業です。

このほど、日南市第9団地の飼料畑造成工事が完成しました。整備前は離農や規模縮小された3名の農家の小区画で段差のある水田でしたが、今回の事業により大区画の飼料畑に整備しました。この畜産農家は本事業で他の場所にも飼料畑を整備しており、合わせると1.2ヘクタールになります。

飼料畑の整備は、畜産経営に必要な自給飼料の増産のみにとどまらず、未耕作地の解消にも繋がることから、他地域でもこのような飼料畑の整備を進めていくことが有用だと思われます。【畜産施設課】



工事概要
飼料畑造成 0.6ha



みやざき農業実践塾「体験講座」を開催しました

平成 29 年度みやざき農業実践塾「体験講座」を 2 月 26 日から 3 月 2 日までの 5 日間にかけて、県立農業大学校農業総合研修センターで開催しました。

実践塾を運営する農業総合研修センターと公社が主催して行うもので、今年度は県内から男性 4 名の参加がありました。

講座では、本県農業生産の現状を学び、実際に栽培管理等の体験や新規就農者を視察することによって、農業やみやざき農業実践塾への理解、就農意欲を高めることを目的としています。

初日は就農の現状と課題及び農業を始める際の基礎知識等の講義と、実践塾の施設見学を、2 日目からは塾生（経営実践コース 1 年間）が栽培している施設きゅうり、ミニトマト、イチゴやピーマンの収穫・箱詰めなど農作業体験を行いました。最終日には先輩塾生として児湯管内で就農された施設きゅうりとピーマン農家を視察し直接生産現場の様子を肌で感じ取ってもらい農家の生の声を聞いて頂きました。

参加者からは、作業体験や塾生とのふれ合いや情報交換等により就農のイメージが具体化するなど良い機会となったとの感想がありました。【担い手支援課】



就農の基礎知識を学ぶ受講生



農家視察

六次産業化 総合化事業計画 新たに 2 件が認定を受ける

宮崎県内事業者が申請した六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画が新たに 2 件認定を受けました。今回の認定により、本県の総合化事業計画の認定は、平成 23 年度からの累計で 97 件となり、全国 3 位、九州 1 位の認定件数となっています。

【新農業支援課】



キャンパスの会



綾園芸

計画実現のため
フォローアップ
していきますね



事業者	事業名	市町村	認定月
社会福祉法人 キャンパスの会	農福連携によるにんじん生産と加工品の製造販売事業	都城市	H30 年 1 月
有限会社綾園芸	自社で育種したラナンキュラスのオリジナル品種の花摘み体験と直接販売事業	綾 町	H30 年 1 月

みやざき 6 次産業化促進交流会を開催しました

平成 30 年 2 月 1 日に宮崎観光ホテル（宮崎市）において、6 次産業化取組事業者と他産業事業者との交流を深めることを目的として交流会を開催しました。

第 1 部では、株式会社グッドテーブルス代表取締役山本謙治氏に「日本の食の今後と求められる商品の姿とは」と題して講演いただき、第 2 部では 4 事業者に 6 次産業化の取組を発表していただきました。

第 3 部では 6 次化商品の展示、県内デザイナー紹介、支援機関紹介を行うとともに、個別相談会を実施しました。農業者 54 名、支援機関 57 名、異業種等参加者 52 名、合計 163 名と昨年度の倍以上の参加があり盛会となりました。

【新農業支援課】



6 次化商品展示



個別相談

6 次産業化ミニチャレンジ塾を県内 2 地区で開催しました

公社では、毎年、「チャレンジ塾」の体験版として、毎年 2 月から 3 月にかけて県内各地で「6 次産業化ミニチャレンジ塾」を開催しております。今年度は、県内 2 地区（西諸県 2 月 6 日、西臼杵 3 月 2 日）で 6 次産業化プランナー等を講師に開催しました。

西諸県地域では、(有)ホップステップアヤウェブ日高亜矢氏を講師に迎え、魅力的な P O P 作成について講義とワークショップを行いました。また、西臼杵地域では、(株)H i n a t a 安達雄樹氏が計画的に行う食品開発について、(株)生活品質科学研究所福地祐治氏が食品表示制度についての講義を行い、その後食品表示の個別相談を実施しました。

公社では、6 次産業化を目指す人材を育成するため、来年度も引き続き県内外の著名な講師を迎え、チャレンジ塾を開講する予定です。すでに 6 次産業化に取り組んでいる方、これから取組を予定している方、ぜひふるってご参加ください。

【新農業支援課】



西諸県地域ミニチャレンジ塾（2 月 6 日）



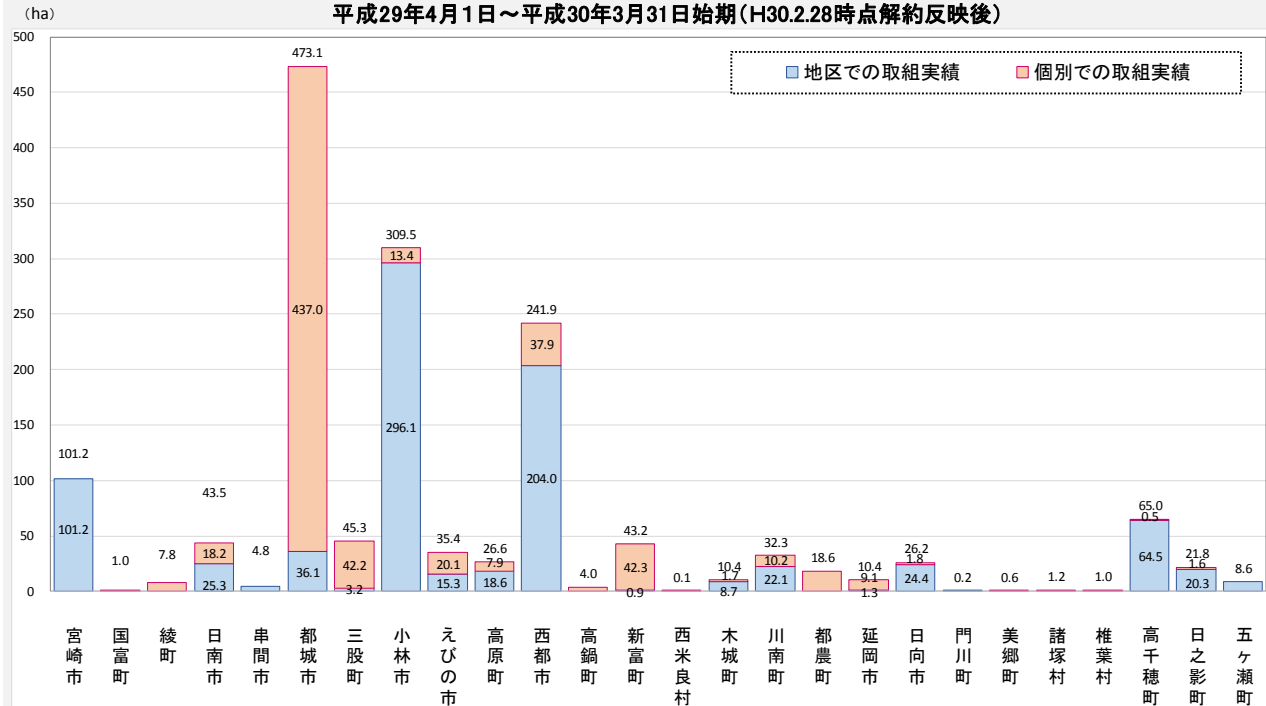
西臼杵地域ミニチャレンジ塾（3 月 2 日）

農地中間管理事業について

平成29年度の農地中間管理事業の貸付実績（2月末時点）は、1533.9ヘクタールとなっており、前年度（1061.9ヘクタール）の約1.4倍の実績となっております。昨年度スタートした新たな農業委員会制度と連携した事業推進及び基盤整備事業との一体的な事業推進などにより実績を伸ばしており、これらの取り組みを更に波及していく必要があります。【農地第一課】

平成29年度農地中間管理事業市町村別実績

平成29年4月1日～平成30年3月31日始期（H30.2.28時点解約反映後）



(ha)

	中部管内	南那珂管内	北諸管内	西諸管内	児湯管内	東臼杵管内	西臼杵管内	計
個別での実績	8.8	18.2	479.2	41.4	114.8	13.7	2.1	678.2
地区での実績	101.2	30.1	39.3	330.1	235.7	26.0	93.4	855.6
計	110.0	48.3	518.5	371.5	350.5	39.7	95.4	1,533.9

※計数は四捨五入のため、合計と一致しないものがある。

これからの行事予定

主催行事に★

日付	行事	会場	問合せ
3月23日(金)	平成29年度第6回理事会	宮崎県トラック協会	総務課 ★
4月8日(日)	宮崎県ふるさと就職説明会	阪急グランドビル	担い手支援課
4月15日(日)	宮崎県ふるさと就職説明会	TKPガーデンシティ渋谷	担い手支援課
4月21日(土)	宮崎県ふるさと就職説明会	アークホテル熊本城前	担い手支援課
4月28日(土)	宮崎県ふるさと就職説明会	アクロス福岡	担い手支援課

豊かな農業経営・新しい未来のために

発行 公益社団法人宮崎県農業振興公社
〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14
電話 0985(51)2011 FAX0985(51)8006